

船舶事故調査報告書

令和5年11月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和4年8月12日 08時35分ごろ
発生場所	福井県美浜町早瀬 ^{はやせ} 漁港北方沖 早瀬港防波堤灯台から真方位344° 2.1海里付近 (概位 北緯35° 39.0′ 東経135° 53.9′)
事故の概要	ミニボート（船名なし）は、航行中、波を正船首方から受けて浸水した。
事故調査の経過	令和4年9月13日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（全長約2.75m）
船舶番号、船舶所有者等	なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者、一級小型
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.6m、潮汐 上げ潮の初期
事故の経過	<p>本船は、操縦者及び同乗者1人が乗り、共に救命胴衣を着用し、早瀬漁港を出航して同漁港北東方沖で釣りをしながら漂泊していた。</p> <p>操縦者は、しだいに風が強まり波も高くなってきたので、帰航しようと釣り場を発進して南進中、波高約0.6mの波を正船首方から受け、船内に海水が打ち込んで浸水して水船状態になり、このまま航行を続けると更に海水が打ち込んでしまうと思い、船外機を停止して118番通報し、救助を要請した。</p> <p>操縦者及び同乗者は来援した救助艇に救助され、本船は救助艇により早瀬漁港へえい航された。</p> <p>本船は、椅子2脚、クーラーボックス2個、魚群探知機、釣り竿6本などを積み、乾舷が約0.35mであった。</p> <p>操縦者は、本事故当日、午後から風が強くなるとの気象予報を確認しており、出航時の風は穏やかであったので、風が強くなる前に帰航すれば危険な状況にはならないと思っていた。また、ふだん、出航時の波高が0.5mに達していれば出航していなかったが、出航時の波高は約0.2mであった。</p>
分析	本船は、乾舷が約0.35mの状態を出航し、操縦者が、午後から風が強まるとの気象予報を確認していた中、釣りを続けていたことから、しだいに風が強まり波も高くなって帰航しようと南進中、波高約0.6mの波を正船首方から受けて船内に海水が打ち込み、浸水した

	<p>ものと考えられる。</p> <p>操縦者は、出航時の風が穏やかであり、波高が約0.2mであったことから、風が強くなる前に帰航すれば危険な状況にはならないと思っ て出航したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、乾舷が約0.35mの状態に出航し、操縦者が、午後から風が強まるとの気象予報を確認していた中、釣りを続けていたため、しだいに風が強まり波も高くなって帰航しようと南進中、波高約0.6mの波を正船首方から受けて船内に海水が打ち込み、浸水したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニボートの操縦者は、ミニボートは、乾舷が小さく、波が舷縁を越えて船内に流入しやすいことに留意し、風や波が強まる前に早めに帰航すること。